

□■感染症情報(H29年第29週) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■
□■

●トピックス

◆手足口病の増加について

銚田保健所管内において、1定点あたり第28週の報告はなく、
第29週0.33とやや増加しております。

県において、1定点あたりの報告数は、第28週1.68(国8.27)、
第29週2.19(国8.93)と増加傾向が続いていますので、引き続き
注意が必要です。

【西日本を中心に手足口病が流行しています(県)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/documents/201707hfmd.html>

【手足口病(県)】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/teasi_1.pdf

◆ヘルパンギーナの増加について

銚田保健所管内において、1定点あたり第28週及び第29週
の報告はありませんでした。

県において、1定点あたりの報告数は、第28週0.66(国2.24)、
第29週0.88(国2.23)となり、増加傾向が続いています。
また、全国においては、先週からほとんど変化していませんが、
夏季に流行しやすい感染症であり、今後も注意が必要です。

ヘルパンギーナとは：発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性の咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する。

【ヘルパンギーナ（県）】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/herupan_1.pdf

【ヘルパンギーナとは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

◆県内における「腸管出血性大腸菌感染症」の発生について

茨城県内において、第29週腸管出血性大腸菌感染症の発生が3件ありました。（第28週は、2件の発生あり）

腸管出血性大腸菌感染症は、夏季に発生が多い感染症であり、現在県内で報告が増加しているため、注意が必要です。

潜伏期間：おおよそ3～5日

症 状：腹痛・下痢・血便など

合併症：乳幼児や高齢者が感染すると、溶血性尿毒症症候群（HUS）等により重症化することがある

<予防のポイント>

調理・食事前、トイレの後に石けんと流水で十分に手を洗う

食品が生肉と接触するのを避ける

食品を十分加熱する

調理後の食品はなるべく食べきる 等

【H29年腸管出血性大腸菌感染症発生状況（茨城県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/sokuho/03tyoukanh.html>

【腸管出血性大腸菌感染症とは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ta/ehec.html>

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】

(第 29 週 7 月 17 日～7 月 23 日)
数累計)

(2017 年第 29 週までの報告

結核	8 件 (鉾田 0 件, 他 8 件)	県	273 件, 全国 12287 件
腸管出血性			
大腸菌感染症	3 件 (竜ヶ崎)	県	14 件, 全国 1025 件
レジオネラ症	2 件 (つくば, 古河)	県	30 件, 全国 819 件
梅毒	1 件 (竜ヶ崎)	県	18 件, 全国 2993 件
破傷風	1 件 (竜ヶ崎)	県	2 件, 全国 58 件

★ 当メールの内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

茨城県鉾田保健所 健康指導課

E-Mail : hokoho03@pref.ibaraki.lg.jp TEL:0291-33-2158

*****鹿行地域感染等対策ネットワーク

【事務局】

土浦協同病院

なめがた地域医療センター

| 茨城県鉾田保健所

〒311-3516

行方市井上藤井 98-8

[TEL:0299-56-0600](tel:0299-56-0600)

FAX:0299-374111

〒311-1517

鉾田市鉾田 1367-3

[TEL:0291-33-2158](tel:0291-33-2158)

FAX:0291-33-3136
